

1. 講座の概要

1) 日時・場所：令和2年12月25日（金）13:00～15:40 場所：高木講堂、学生会館

2) 企画・実施：地域推薦入学生支援専門部会、入試委員会、就職対策委員会

3) 講座の目的・目標

令和3年度地域推薦入試の合格者（以下合格者）と保護者、地域推薦入学在學生（以下在學生）、市町村担当者、教員が一堂に会し、「推薦を受けた地域の看護職者に就き、地域住民の健康を担い、将来リーダー的役割を果たすことができる優れた看護職者の育成と確保を目指す」という地域推薦入試制度の目的を確認するとともに、共に地域医療について考えることを通して、地域推薦入学生としての大学生活がイメージできるようになることを目的とする。

4) 対象

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は規模を縮小し、合格者に焦点をあてて実施した。

- ・令和3年度地域推薦入試の合格者とその保護者
- ・合格者の推薦市町村担当者
- ・1～4年の地域推薦入学生
- ・看護大教職員

5) プログラム

I.地域医療における活動報告会

(1) 地域医療について考えよう

1. 卒業生の活動報告

「串間市民病院が行う地域医療と新人看護師としての学び」

串間市民病院 看護師 津曲 恵美里（地域推薦入学1期生）

2. 入学前課題「推薦市町村の地域の特性について把握しよう」報告

1年生：鎌田 帆風（都城市）川崎 海空（都農町）末安 恵菜（延岡市）

温水 奏衣（高原町）橋満 朱李（小林市）濱田 海樹（西都市）

(2) 入学までの過ごし方

①「地域推薦入学生の学生生活の手引き」の説明

②入学前課題「推薦市町村の地域の特性について把握しよう」の説明

II.合格者・保護者、合格者の推薦市町村担当者、教員との三者面談。

合格者と同じ推薦市町村の在校生も三者面談を実施。

在校生との交流会

2. 講座の評価

1) 参加者数：59名。

内訳：合格者及び保護者10名（合格者は保護者とともに全員出席）

在學生22名（3名欠席）

市町村担当者3名（業務の都合で推薦市町村2名が欠席）

教職員24名

2) プログラム内容について

(1) 学生アンケート

●全員が「卒業生の活動報告」「入学前課題の報告」「交流会」について、<大変良かった・良かった>と評価し、本講座が卒業後に地域に就職する上で<大変参考になった・参考になった>と評価した。

【自由記述からの抜粋】

項目	合格者	在学生
卒業生の活動報告について	<ul style="list-style-type: none"> 自分がこれから看護大で学んでいく上で、どういうところに気を付けて学習すればよいのか、地域とどのように連携をとっていけばよいのか分かった 活躍していて刺激になった 他 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に地域推薦を受けた方の話だったので、将来のイメージがついて、わくわくした(1年生) これから先輩と同じように地域で働いていく人間として、卒業後のイメージがつかめて、また、生き生きとした姿をみて楽しそうだと思った(2年生) 地域医療ではたらく利点がきけてよかった(3年生) 自分がどのような過程をたどるのか、実際の現場での看護の実際について知ることができた(4年生) これまでの市町村との関わりがどのようにつながっているかを考えることにもつながった(4年生) 他
入学前課題「推薦市町村の地域の特性について把握しよう」報告	<ul style="list-style-type: none"> 自分の地元についてくわしく知る良い機会になると思った 地域について知ることが大切だと思った 他 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の取り組みを聞き、何を行っていて、自分の地域には何が足りていないか等を比較して聞くことができた(1年生) 自分のときにはなかった取り組みなので、入学前から地域で働くことをみすえた活動はとても良いと思ったし、しっかり準備しててすごいと思った(2年生) 地域の特性をよりくわしく知れて良かった(3年生) 入学前より地域特性を知っていることで、より地域への思いを深めることになり、これからの自分の姿について、段階を踏めるようになっていたと思った(4年生) 他
交流会について	<ul style="list-style-type: none"> 色々質問ができ、優しい先輩ばかりで安心した 学校生活以外のことも聞くことができた 顔見知りの先輩もいて、緊張がほぐれた。様々なことをお聞きでき、入学後が楽しみ 他 	<ul style="list-style-type: none"> 先輩方の今までの経験の話(実習や授業を)を聞け、とても参考になった(1年生) 自分の2年間の経験が役に立てたよううれしかった(2年生) 4年生の経験談が参考になった(3年生) 他学年の意見をきくことができてよかったです(4年生) 病院の現状や卒業生の考えを知ることができたから(4年生) 他
講座が卒業後に地域に就職することに役立つかについて	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな市町村の特徴を知ることができた 卒業後どうしていきたいかも少し考えていこうと思う 他 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の話を忘れていた部分もあったので改めて気がひきしまった(1年生) このような機会がないと自分から地元のことであったり、医療について調べることがないので、この講座があつて宮崎の地域医療について知ることができた(2年生) 先輩の実体験をきけた(3年生) 他の市町村の現状や地域にある課題を自分の地域として重ねて考えることができ、今後、自分のなりたい姿を作る基盤作りができたと考えた(4年生) 後輩にアドバイスができ、私自身も様々なことを知り、働く上で自信につながった(4年生) 他

(2) 保護者の意見

- ・「幼いころから看護職に就きたいと思っている娘が、自分の夢に一步近づき、嬉しいばかりです。」
- ・「入学前にこうして同じ入試区分で合格した保護者の方と顔合わせができ安心しましたし、4年間仲良くしていただきたいと思います。」
- ・「地元の皆さんに看護職として恩返ししたいと言って受験したので、合格できたことがとにかくうれしい。」
- ・「今後も保護者間で情報交換していきたい。」

- ・「ポートフォリオで子供の学びが見えますね。」
- ・「このような交流の場を設けてくださりよかったです。」
- 以上より、保護者同志の交流も深まり、保護者自身も地域推薦入試で合格したことの意味を理解することにつながったことが確認できた

(3) 三者面談

- ・学生からは「地域医療に関心があること」「将来のありたい姿」「入学前課題に取り組みたい思い」「大学では看護のいろいろな分野をどのように学んでいくのか」などの意見や質問があった。
- ・保護者からは「就職先は自分で探さなければならないのか」「一人ぐらしをさせることが不安」などの不安が語られた
- ・市町村からは「卒業後就職したいと思っている病院」「卒業後4年間での市町村の勤務という約束の再確認」「参加したい事業・見学したい病院」などの確認が行われた。
- ・教員からは、「大学のカリキュラムや授業内容」「大学での就職支援のあり方」などを説明した。
- 三者面談では、学生の不安や疑問の解消に役立つともに、学生への支援の方向性を市町村と共有できた。

3. 事後の対応

- 1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市町村との意見交換や在学生の三者面談を中止としたことから、在学生の三者面談は5月までの間に地域の流行状況をみて教員と学生が市町村を訪問し市町村で三者面談を実施する。(高千穂町、美郷町、日向市、西都市、新富町、都城市、小林市、高原町、日南市)
- 2) 活動報告の様子を撮影したものを編集し、DVDに収録し、在学生の推薦市町村や欠席した学生に視聴を促す。

4. 今後の地域推薦入学生へ支援について

●効果が確認できたため継続

- 1) 地域医療を支える看護学生スタートアップ講座の継続開催
- 2) 入学前課題「推薦市町村の地域の特徴と求められる地域医療」を課す：地域への愛着形成
- 3) ポートフォリオの作成を課す（在学生にも適用）：目標像の確認と成長の自己評価、面談への活用
- 4) 交流会（ピアサポート）の強化：卒業生も交え地域医療について考える意見交換の場の設定
- 5) 「地域推薦入学生の学生生活の手引き」の活用
- 6) 2年次、3年次には学生、市町村担当者、教員との三者面談を実施：就職についての方向性の共有

●支援の強化

- 1) 高校・市町村に地域推薦入試制度の目的について再度周知（市町村が推薦するにあたり、高校教員とのやり取りのみで済ませ、一度も学生と面接のないまま推薦 / 地域医療に興味があると学生が表現したら地域推薦入試を勧める など）
- 2) 今年度は、コロナ禍で、市町村での活動等が制限され、地域と繋がっている実感が薄れている学生も多くみられる（特に3年生）。「推薦地域の看護職につき、地域に貢献する」という目的が達成できるように市町村との連携を図り、学生への支援を強化していく。